

(令和3年3月29日)

< ワンポイントレッスン (理論・基礎知識) >  
(財務体質・その1ーはじめに (2))

前回は、「株主からみれば、自分たちの持分に対して、每期どれだけの利益を上げたか…が重要。これを自己資本当期純利益率 (=ROE : Return On Equity) と呼んでいます。言い換えれば、株主資本をどれだけ増加させるかの指標となります。」でした。

自己資本利益率は、それを得るにあたっての、

- ①「各営業活動についての成果、一般には売上高に対する売上総利益、営業利益、経常利益、当期純利益の比率で測ります。②また、投下資本に対する営業成果をみることも重要、売上高を資産合計で除したもの (総資本回転率)、資産の使用効率です。
- ③. 加えて、増益か減益かの方向性をトレースしなければなりません。

そして、分析する際に少し応用編。というより筆者流ですが当期純利益ではなく、通常経常利益を使っています。損益計計算書をご覧ください。当期純利益の前には特別利益や特別損失の項目があり、経常的に発生しない項目が計上されるからです。

期間損益で時系列に、あるいは他社比較を行う場合は、特に使い分けが必要になります。今回は ROE の展開式について説明しますが、自己資本経常利益率で計算しています。

再掲⇒ (簡略化した貸借対照表と損益計算書)

(貸借対照表)		(損益計算書)
資産の部	負債の部	売上高
流動資産	流動負債	売上原価
手元流動性資産	買掛金	売上総利益
売掛債権	短期借入金	販売費及び一般管理費
棚卸資産		営業利益
その他	固定負債	営業外収益
貸倒引当金	長期借入金	営業外費用
固定資産	負債合計	経常利益
有形固定資産	資本の部	特別利益
無形固定資産	株主資本	特別損失
投資その他	資本金	税金等調整前当期純利益
繰延資産	資本準備金	法人税等
	利益剰余金	当期純利益
資産合計	負債・資本合計	

(了)